文化芸術活動基盤強化基金　クリエイター等育成支援（コンテンツ制作・発信を支える中核的専門人材育成・確保等）

団体名	特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO）
プロジェクト名	日本映画スタッフ育成・強化に向けた包括的育成基盤整備事業

基本情報

対象分野	映像	対象となる職種	助監督、撮影、照明、録音、美術、装飾、持道具、編集、スクリプター、制作、衣装、メイク、MA、カラーグレーディング、VFX、DIT、俳優から、VPスーパーバイザー、VPプロデューサー、VPテクニカルディレクター、UEアーティスト、VAD等

プロジェクトの概要（案）

日本映画制作力を底上げする「包括的育成基盤」の整備・構築を目指し、映画制作に携わる多様な職種を包括的に育成する5つのプログラムを実施する。
①Mock Shooting Session（模擬撮影実践演習）
②Backlot Academy（海外ワークフロー研修）
③Global Actor Lab Japan（国際俳優育成プログラム）
④VP Innovation Platform（VP中核技能者育成プログラム）
⑤Post-production Workflow Lab（ポスプロ人材育成基盤強化プログラム）
5つのプログラムを通じ、最新技術や国際基準のトレーニングを包括的に提供し、中核的専門人材の「確保・維持・進化」を推進することで、日本映画産業の自立的な発展と持続的な活性化を目指す。

具体的な人材ニーズ、またはニーズが生じる見込み

日本の映画産業では、全職種にわたる慢性的なスタッフ不足が深刻化している。さらに、国際共同製作の増加やバーチャルプロダクション（VP）等の新技術の普及に伴い、これらに即応できる中核的専門人材のニーズが急増している。本事業は、特にニーズが見込まれる20職種以上を対象に育成プログラムの提供と育成基盤の整備を行い、多様な職種の専門人材を幅広く育成し、中核的専門人材層の拡充を図る。



期待される成果や波及効果

- 現場実践やリスキリングにより、制作準備から仕上げに至る全工程において入口から指導者への人材循環が生まれ、業界全体の制作力と技術力が底上げされる。
- 最新技術の導入、国際標準の映像制作への対応と国際基準の俳優育成により、日本映画の国際的プレゼンスの向上と日本の才能の海外進出の加速を目指す。

人材の育成・確保のための持続的な基盤の構築イメージ

本事業は、個社単独では困難な人材育成を職能団体、育成団体、スタジオ事業者等の連携による特定の企業に閉じない業界横断的なプラットフォームとして構築する点に特徴がある。一部プログラムでは他業種、他職種からの流入や未経験者の就業を促進するための初期教育やリクルーティングも行う。また、現場での疲弊による離職を防ぎ、人材の業界定着を図るため、体系的な基礎スキルの底上げや、ステップアップの機会を提供、さらに最新技術に対するリスキリング環境の整備を行う。例えば、Mock Shooting Sessionでは、ロールチェンジの実践を通じて、自身の適性を知る機会を提供し、将来的なミスマッチやモチベーション低下を防ぎ、持続的な成長を企図する。このように、人材を「確保・維持・進化」させる持続可能で包括的な支援基盤を業界全体で形成し、日本映画界の中核的専門人材の就業と定着を強力に後押しする。

文化芸術活動基盤強化基金　クリエイター等育成支援（コンテンツ制作・発信を支える中核的専門人材育成・確保等）

目標達成までのロードマップ（案）

1年目

①Mock Shooting Session：
指導カリキュラム・シナリオ作成、実施体制整備、育成対象者の選定方針策定
②Backlot Academy：
プログラムのローカライゼーション（日本の制作環境に合わせた調整）、実施準備、参加者募集・選定
③Global Actor Lab Japan：
参加者募集・選考・選抜、実施準備
④VP Innovation Platform：
プログラム開発、実施体制・カリキュラム整備、参加者選定準備
⑤Post-production Workflow Lab：
基礎教材制作、セミナー・ワークショップ等の実施、教育サイト構築

2年目

①Mock Shooting Session：
模擬撮影教育演習を実施（第1回・第2回）
②Backlot Academy：
第1回プログラム実施、第2回参加者募集・選定
③Global Actor Lab Japan：
第1年次プログラム実施（演技基礎・英語・シーンワーク等）
④VP Innovation Platform：
撮影・照明・美術分野の実践型ワークショップ実施
⑤Post-production Workflow Lab：
教材制作・公開、セミナー・ワークショップ、国際セミナー実施

3年目

①Mock Shooting Session：
模擬撮影教育演習を実施（第3回・第4回）、うち1回は海外講師による演習を導入
②Backlot Academy：
第2回プログラム実施、成果検証・総括
③Global Actor Lab Japan：
第2年次プログラム実施（映像演技、セルフテープ、デモリール、国際キャスティング連携等）
④VP Innovation Platform：
DIT・VFX分野の実践型ワークショップ実施、成果検証・総括
⑤Post-production Workflow Lab：
高度専門教材の調査・構成・試作、セミナー・ワークショップ、サイト機能拡張

実　施　体　制（案）

運営事務局
Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映像産業振興機構

連携

①Mock Shooting Session
（模擬撮影実践演習）
実施主体：日本映像職能連合

②Backlot Academy（海外ワークフロー研修）
プログラム提供：SHADOWBOX STUDIOS
ローカライズ・実施協力：TOHOトンボピクチャーズ・TOHOスタジオ

③Global Actor Lab Japan（国際俳優育成プログラム）
実施主体：アップスアカデミー

④VP Innovation Platform（VP中核技能者育成プログラム）
実施主体：バーチャルプロダクション事業各社

⑤Post-production Workflow Lab
（ポスプロ人材育成基盤強化プログラム）
実施主体：日本ポストプロダクション協会（JPPA）

団体名：特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO）、プロジェクト名：日本映画スタッフ育成・強化に向けた包括的育成基盤整備事業